

ごあいさつ

この事業は、入間市博物館ALIT、うらわ美術館、川越市立美術館、川口市立アートギャラリーATLIA、埼玉県立近代美術館の埼玉県内の公立ミュージアム5館がゆるやかに連携し、実行委員会制で文化庁の支援を得て実施するものです。「あなたと どこでも アート」実行委員会としての開催は3年連続で、一昨年の「小さな家プロジェクト」、昨年の「着がわりプロジェクト」に続き、今年度は「おかわりプロジェクト」と題して、県内各地で33の事業を実施しました。

お茶の博物館として名高い入間市博物館の「五感で味わいつくす茶の世界」をはじめとして、「食」をテーマとした各ミュージアムのユニークなワークショップやアート散歩が今年も好評でした。

語源を遡れば「アート」とは、本来ミュージアムという「神殿」に祀られるものではなく、人間が心身ともに豊かに生きるための様々なたしなみであり技でした。「あなたと どこでも アート」という名称からもうかがえるように、この実行委員会ではこれまでも美術館内でのプログラムに止まらず、公園や商店街、文化財建築から廃工場、まちなかのアートスポットまで、さまざまな場所でアートの新たな楽しみ方を提案してきました。こうしてアートの「場」を自在に拡張するとともに、「住・衣・食」という暮らしに身近な視点からアートのあり方を再確認し、軽やかに既存の枠組みを乗り越えることをめざして、ジャンルを超えたコラボレーションやさまざまな機関、団体との協働を行ってきました。

こうした活動の企画・運営のエンジンとなっているのがSMF (Saitama Muse Forum)の方々です。埼玉県立近代美術館のミッションに共鳴し、美術、音楽、舞踊、建築、文学など、さまざまな分野で活動する方々が集い、「身近な場所でアートを享受し、支援し、再創造するプラットフォームをめざします」を旗印に、各ミュージアムのスタッフとともにこの事業を支えています。

平成20年から続く文化庁のモデル事業、補助事業の成果として生まれたSMFは、昨秋の「さいたまトリエンナーレ2016」にも招聘され、同展会期中に大宮できわめてユニークな「SMF学校」を開校しました。この実行委員会でもさいたま市初の国際芸術祭であるトリエンナーレを支援するため、「北浦とおかわり芸術祭」、「OMIYAプロジェクト—都市の夢」、「TANBOプロジェクト—田園の夢」を、同トリエンナーレ市民プロジェクトとして開催し、北浦和公園や氷川参道、見沼たんぼなど、さまざまな場で、合計35,000名を超える方々に各種のアートプログラムをお楽しみいただきました。

平成20年から足かけ10年に及ぶこれまでの事業を通じて、たくさんの出会いと交流が生まれ、その周辺でさまざまな協働がはじまっています。ミュージアムをキーステーションとしながらミュージアムに限定されない活動や、さまざまなジャンルを超えた協働がSMFを母胎として生まれています。アートのプラットフォームをめざすこのようにユニークな活動がミュージアムから誕生したのは、きわめて稀なことといえましょう。SMFの今後の活動に期待するとともに、さまざまな活動をゆるやかに機動的に繋ぎ、美術館と地域連携の新たなモデルを構築することが今後の課題です。

この事業の趣旨を理解し貴重な機会を提供して下さった文化庁をはじめ、惜しみないご協力をいただきました各ミュージアム、大学、団体各位、多くのみなさま方に、心から感謝申し上げます。

平成29年3月
「あなたと どこでも アート」実行委員会
委員長 建畠 哲

あなたと どこでも アート おかわり プロジェクト

目次	
ごあいさつ	1
プロジェクトM キラキラ★カチカチスプーンワールド／変身！野菜の大冒険／ 風を描こう！／洗濯バサミで絵を描こう。お顔をトレース★肖像画	2
五感で味わいつくす茶の世界 聴いて味わう 時空を超えるお茶の旅／お茶の浮世絵特別公開／アートお茶 の間談義／五感で味わうわび茶の空間／てんからまつへ～茶臼で挽くお茶の テンマツをたのしむ	3-4
ラマダン・ファヌースを作ってみよう！／エジプトの食と文化展 & 講演・交流会	5
まちの記憶をたどる ビール・味噌 麦のみち／色と形のコックさん～つくってあそぼう アートなトンネル～	6
北浦とおかわり芸術祭 きたうらワン・シスターズ&ブラザーズ参上！／草上の昼餐	7
おむすびコロリン、おなかの旅	8
花咲かアートさんプロジェクト	9-10
回遊美術館Ⅲ	11-12
電子音響ビールプロジェクト2016@SAITAMA	13-14
OMIYAプロジェクト—都市の夢	15-16
TANBOプロジェクト—田園の夢	17-18
SMF学校(さいたまトリエンナーレ2016公式参加プロジェクト)	19-20
宝船展II on the net & @ MOMAS／アート寺子屋「アートすることの意味？」	21
委員・協力者名簿／報道記事等一覧	22

プロジェクトM

「キラキラ★カチカチスプーンワールド」 8月13日(土) 埼玉県立近代美術館 講堂

期間は夏休み！多くの来館者で賑わう埼玉県立近代美術館では、フリー参加のワークショップ「キラキラ★カチカチスプーンワールド」を行いました。

このワークショップは、当館収蔵作品である上田薫さんの《ジェリーにスプーン C》の鑑賞からスタートします。「この作品をじっくり見てください。」「何が描かれていますか？」の問いかけから、参加者との対話が始まります。まず、ゼリーやスプーンに眼が届きます。味や冷たさを想像すると、口の中に唾液がじんわり…さらに見つめていくと、スプーンやゼリーに周りの景色が映っていることに気が付きます。「何だか現実世界を食べてしまうかのようにも見えてきますね。」と、鑑賞を楽しみました。

鑑賞の次は制作です。「今日は、たくさんのスプーンを並べたりマグネットでくっつけたりして自由に形を作り、そこに映り込む景色を楽しんでください！」と、造形遊びがスタートしました。用意したのは4500本のスプーンと3000個のマグネットです！何を作るかは参加者のアイディア次第なのですが、タワーを作って高さを競い合う親子や、ウツボやジンベイザメがいる海の中を表現する子など、さまざまな作品が生まれました。スプーンにキラキラ映る世界が、とてもきれいでした。(参加者:171名)



野外ワークショップ「風を描こう！」 11月14日(月・県民の日) 北浦和公園

埼玉県立近代美術館では県民の日「もますまつり」と称してさまざまなワークショップを行い、盛り上げています。風車に彩られた北浦和公園で、フリー参加のワークショップ「風を描こう！」を行いました。

公園に1m×2mの透明アクリル板を4枚設置すると、近くで遊んでいた子どもたちは何が始まるんだろうと興味津々！自然にたくさんの子どもたちが集まってきました。「今日は見えない黒板に、普段は見えない風の絵を自由に描いていいんだよ！」と伝えると、カラーペンを手に取り「風」をテーマにしたお絵描き大会の始まりです。このカラーペンは水拭きで簡単に消すことができるので、風で揺れている花や空を舞う木の葉を描いたり、風の流れのイメージを線で描くなどさまざまです。中には「風邪をひいて鼻水を垂らした顔」を描きだす子も!!! とんだかぜ違いですが表現の自由です。まあ、大目に見ましょ。透明アクリル板の特性を生かして親子で向かい合って絵を描くなど、普段はできないお絵かき体験に参加者は大満足な様子！風の絵とともに、参加者の楽しむ声が北浦和公園に広がっていました。(参加者:248名)



「変身！野菜の大冒険」 8月27日(土) 埼玉県立近代美術館 創作室

今年度のSMFのテーマ「食」に合わせ、食をテーマに活動を続けているアーティスト増田拓史さんを講師に招き、野菜とアートが融合したワークショップを親子参加で行いました。

午前中は、各家庭で手作りしてきたお弁当を眺め、どんな野菜が使われているか調べました。「トウモロコシってどうやってなっているのかな?」「ジャガイモにはどんな花が咲くのかな?」など、想像して絵を描きました。午後は野菜の特徴を活かして超軽量紙粘土で野菜のキャラクター作りに挑戦です！芯を入れる方法や、粘土の表面をきれいにする方法など、増田先生が丁寧に教えてくれました。「どの野菜にする?」「何をしているキャラクターにする?」親子で仲良く相談し、制作時間があっという間に過ぎました。「みると幸せになれる野菜の鳥」「子供を楽しませるアスパラのピエロ」など、色も形も可愛いユニークな作品たちが完成！素敵な作品をチェキで撮影し、参加者全員分の作品を図鑑にして今日の思い出を持ち帰りました。(参加者:親子9組20名)



SMF学校開校記念ワークショップ 「洗濯バサミで絵を描こう」 「お顔をトレース★肖像画」 9月24日(土)・25日(日) 山丸公園、市民会館おのみや

SMF学校開校を記念して、ワークショップを2つ行いました。「洗濯バサミで絵を描こう」は、磯辺行久氏の作品《エアードーム:さいたまトリエンナーレ2016》の中で行いました。参加者がケータイで友だちを呼ぶなど、次から次へと人が集まり、エアードームの中がカラフルな洗濯バサミで彩られました。「お顔をトレース★肖像画」は、見ての通りの初体験！このふざけた描き方に参加者は大爆笑!! でも、芸術的な作品がたくさん生まれました。(参加者:2日間計洗濯バサミ394名／お顔をトレース79名)

矢花俊樹(運営委員)

